

かわら版あおば消防通信 43号

平成 29 年 9 月 発行：横浜市青葉消防署 協賛：青葉火災予防協会

ミニ防災相談・体験会を実施します♪♪

「近く、大きな地震があるかもしれない。防災に関心はあるけれども、時間的な制約で訓練などに参加できない。」そのような皆さんにも気軽に立ち寄っていただけるように、オープンスペースで「ミニ防災相談・体験会」を開催します。ぜひ足を運んでください。皆様のご来場をお待ちしています。

- ☆11月9日(木) 13:30~15:30 たまプラーザテラス(ステーションコート)
 - ☆3月2日(金) 13:30~15:30 青葉台東急スクエア(South-1 本館 1F アトリウム)
- ※音楽隊の登場は、いずれも 14:30~15:30 になります。

●内容：各種防災相談、防災用品の展示、心肺蘇生法の体験など



消防音楽隊の演奏とドリル演技♪



こども用防火衣の試着



AED
体験



防災用品展示コーナ

消防ふれあひフェア 2017 を開催します！

家族ぐるみで楽しみながら自助・共助の重要性について学んでいただける機会を提供し減災への取組を推進することを目的としています。開催日時及び実施内容等は下記のとおりです。

1 スタンプラリー

①こども防火衣を着て、放水体験、②AEDの取り扱い、心肺蘇生法の体験、③防災センター内のコンテンツの体験。①~③を終了された方に参加賞を配布します。

2 出展

軽食、飲料及び防災グッズの有料販売、豚汁の無料配布(先着 200 名程度)

3 イベントプログラム

はしご消防車搭乗体験、日本体育大学の指導による体験、演技披露(ダンス、チアリーダー、新体操、ダブルダッチ、エアロビクス)、元石川高校ダンス部の演技、横浜市音楽隊コンサートなど。

開催日時 平成 29 年 11 月 18 日 (土) 午前 10 時 30 分から午後 3 時(荒天中止)
場 所 横浜市民防災センター及び沢渡中央公園 (神奈川区沢渡 4-7)
入場無料

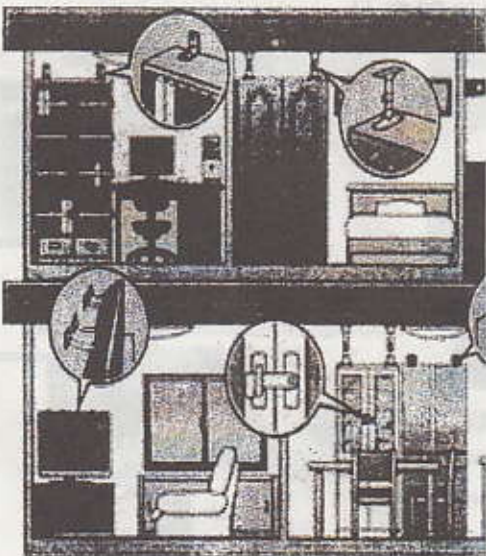


☆大地震に対するご家庭での備え～これだけは準備しておこう！

☆家具の置き方、工夫していますか？

阪神・淡路大震災や新潟県中越地震などでは、多くの方が倒れてきた家具の下敷きになって亡くなったり、大けがをしました。大地震が発生したときには「家具は必ず倒れるもの」と考えて、転倒防止対策を講じておく必要があります。

- ・家具が転倒しないよう、家具は壁に固定しましょう。
- ・寝室や子ども部屋には、できるだけ家具を置かないようにしましょう。置く場合も、なるべく背の低い家具にするとともに、倒れた時に出入り口をふさいだりしないよう、家具の向きや配置を工夫しましょう。
- ・手の届くところに、懐中電灯やスリッパ、ホイッスルを備えておきましょう。



タンス

- ・床側をストッパーなどで固定し、天井側はポール式器具で固定する

食器棚

- ・L字型金具やワイヤーなどで壁に固定し、開き戸には開かないように留め金を付ける

本棚

- ・L字型金具やワイヤーなどで壁に固定し、重い本は下の段に

テレビ

- ・粘着マットを敷いて転倒を防ぐとともに、機器の裏側をワイヤーなどで壁やテレビボードに固定する

冷蔵庫

- ・裏側をワイヤーなどで壁に固定する

窓ガラス

- ・強化ガラスに替えたり、飛散防止フィルムを張ったりする

食料・飲料水などの備蓄、十分ですか？

電気やガス、水道などのライフラインが止まった場合に備えて、普段から飲料水や非常食などの備蓄をしておきましょう。防災のために特別なものを用意するのではなく、できるだけ、普段の生活の中で利用されている食品等を備えるようにしましょう。

食料・飲料・生活必需品などの備蓄の例(人数分用意しましょう)

※備蓄品はできれば7日分、最低でも3日分必要です。

- ・飲料水 (1日1人3リットルが目安)
- ・非常食 ご飯(アルファ米など)、ビスケット、板チョコ、乾パンなど
- ・トイレットペーパー、ティッシュペーパー、マッチ、ろうそく、カセットコンロ など
- ・通常の食材を多めに買って置き、消費したら買い足す「ローリングストック」で消費期限切れをなくします。
- ・消費期限が比較的長く、常温でも日持ちする主食(乾麺など)が非常に有効です。
- ・カセットコンロとボンベがあれば、ライフライン途絶時にも調理できます。
- ・ラップやウェットティッシュ、大きいポリ袋等は様々な使い方ができ重宝します。



青葉消防団の主な活動(10月)

- 10月2日(月) 消防団長及び副団長研修
- 10月14日(土) 横浜市消防操法技術訓練会

